

つやま

版ドワイ州作

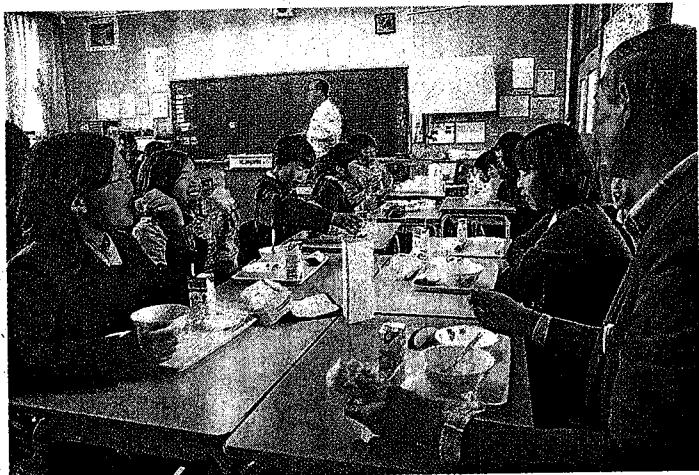
1-3607

1-7181

1-3607

上河原支店 TEL(0868)23-1783

西支店 TEL(0868)23-6896



巨大胚芽米・はいいぶき入り

産学官でつくる「つやま新産業創出機構」(津山市山北)が産地化を進めている巨大胚芽米「はいいぶき」を使ったパンが24日、同市内の11小の給食にお目見えした。(仁井名小百合)

「パンおいしい」

同市皿の佐良山小学は、しっかりとみなが校の5年2組では、米ら味わっていた。内田生産者の高山操さん葵君(11)は「つづぶ(63)＝同市上高倉やがいったいあって、お市職員ら計5人を招いた。また食べて「給食を食べる会」たい」と喜んでた。を聞き、原料としてははいいぶきは、胚芽はいいぶきを1割使ったの大きさが通常の白米の約3倍あり、神経のごとに分かれた児童沈黙効果があるとされ

市内11小の給食で試食

るギヤバの生成能力が高く、ビタミンEや食物繊維を多く含む。同市や鏡野、奈義町などの農家約10戸が計5畝で栽培している。

胚芽米入りパンの試

巨大胚芽米を使ったパンをおいしそうに食べる児童ら

食は、地域の特産品に関心を持ってもらうと、校内に調理場が併設されている単独調理校のうち11校で実施された。

中心市街地

活性化成功の手法紹介

高松丸亀町商店街 理事長が講演



商店街活性化の在り方について話す古川理事長

中心市街地活性化講演会(津山市中心市街地活性化協議会など主催)が24日、同市山下の津山圏域雇用労働センターで開かれ、高松市の高松丸亀町商店街振興組合の古川康造理事長が「100年先もにぎわい続ける商店街を目指して」と題して話した。

その上で、再開発による固定資産税などの税収が国、香川県、高松市で計10億円増加することに触れ、「中心市街地はインフラ整備が既に終わっており、投資すればリターンは大きい。地域経済や地方を活性化化する上でも合理的」と強調した。

講演会には、同協議会会員や市内の商店主ら約80人が参加した。(久万真毅)

リンゴ元気に育って

津山っ子市民の会20周年

今月上旬まで 12小中で植樹

津山っ子を守り育てる市民の会は、発足20周年記念事業の一環として津山市内の小中学校にリンゴの木を植樹している。3月上旬までに計12校で実施する。



リンゴの木に土をかける児童たち

河辺小学校(同市国分寺)で23日にあった植樹には、西尾保会長(70)＝同市志戸部も参加。同小の運営委員と一揃に、学校入り口付近に「つがる」ぶ

児童は30センチほど掘られた穴に、添え木と一緒に高さ約1・7メートル

励金に贈る

